

## NRCAオリジナル馬場馬術課目2026

時間5'00" (参考時間) 馬場 20m×60m

競技会名

日付

審判員名

審判員位置

出番順

競技者名

所属

馬名

順 序		運動課目	最 高 点	採 点	修 正	係 数	合 計	着眼点	観察所見
1	A X	尋常速歩で入場 停止－不動－敬礼 尋常速歩で発進	10					ペース、停止、移行の質 真直性、コンタクト	
2	C MB	右手前蹄跡に入る 右肩を内へ	10					速歩の整正と質 屈曲と一定した角度 収縮、バランスと流暢さ	
3	BX XE	右へ直径10mの半巻き乗り 左へ直径10mの半巻き乗り	10					整正、バランスと正しい屈曲 方向変換の流暢さ	
4	EK KAF	左肩を内へ 尋常速歩	10					速歩の整正と質 屈曲と一定した角度 収縮、バランスと流暢さ	
5	FS SHC	斜め手前変換 中間速歩 尋常速歩	10					速歩の整正と質、真直性、バランス 歩幅とフレームの伸展 明確でスムーズな移行	
6	C CM	右へ直径20mの輪乗り (手綱を伸ばした軽速歩) 馬を前方及び下方向にストレッチ 徐々に手綱を短くする	10			2		馬の背のストレッチの質 バランスを維持しつつ前方及び 下方への軽いコンタクト 尋常速歩への移行の質	
7	MR R IS間	中間常歩 右へ回転 右ヘターン・オン・ザ・ホンチズ	10					諸関節の柔軟性、屈曲 前進氣勢、4ビートの維持 整正、活発さ、収縮、大きさ	
8	IR IS間	左ヘターン・オン・ザ・ホンチズ 中間常歩	10					整正、活発さ、収縮、大きさ 諸関節の柔軟性、屈曲 前進氣勢、4ビートの維持	
9		MRI(S)I(R)IS中間常歩	10					中間常歩への移行 整正、活発さ	
10	SE ELF FA	中間常歩 斜め手前変換 手綱を伸ばした常歩 (軽いコンタクト) 尋常常歩	10			2		明確な移行 常歩の整正と質 後肢の活発な動き 伸び伸びとした歩調 真直性	
11	A AK KH HCM	右尋常駢歩で発進 尋常駢歩 往復手前を変え BXの中間地点(クォーターライン)を通る 尋常駢歩	10					明確でスムーズな移行 整正、真直性、バランス セルフキャリッジ 反対駢歩の正しい姿勢と図形	
12	MV VKA	斜め手前変換 中間駢歩 尋常速歩	10					明確でスムーズな移行 歩幅とフレームの伸展、バランス 真直性、アップヒル傾向	
13	A AF FM MCH	左尋常駢歩で発進 尋常駢歩 往復手前を変え XEの中間地点(クォーターライン)を通る 尋常駢歩	10					明確でスムーズな移行 整正、真直性、バランス セルフキャリッジ 反対駢歩の正しい姿勢と図形	
14	HIB	Iでシンプルチェンジ	10			2		図形の正確さ、駢歩の整正 明確な移行、真直性 3～5歩の常歩の質	

NRCAオリジナル馬場馬術課目2026

出番順		競技者名	所属					馬名	
順 序		運動課目	最 高 点	採 点	修 正	係 数	合 計	着眼点	観察所見
15	BLK	Lでシンプルチェンジ	10			2		図形の正確さ、駢歩の整正 明確な移行、真直性 3～5歩の常歩の質	
16	KAL LI I	尋常駢歩（Aで中央線上に入る） 尋常速歩 停止－不動－敬礼	10					ペース、停止、移行の質 真直性、コンタクト	
		手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計			200						

※ターン・オン・ザ・ホンチズ：回転の間、馬は1点を中心にして移動する。即ち、内方後肢はポイントに近い位置に維持しつつ、前肢と外方後肢はその周りを明確な4ビートで踏歩しながら回転する(半径約1/2m)。

総合観察

全体的な印象（人馬コンビネーションによる調和のとれた表現  
騎手の姿勢と騎座、控えめかつ効力のある扶助）

合計

減点すべきもの/ペナルティポイント

経路違反 J.E.F.430条6.1を参照

1回目 = 0.5%減

2回目 = 1%減

3回目 = 失権

その他のペナルティー技術的過失

1回ごとに0.5%減 J.E.F.430条6.2を参照

10			2	総合観察所見：
220				
得点率％：				
その他のペナルティ：				
合計得点率％：				

審判員署名